

第14条 ペナルティキック

ペナルティキックは、直接フリーキックが与えられる反則の1つ(置き換え:10)を犯したチームに対し、自陣のペナルティエリア内で、ボールがプレー中である場合に与えられる。

ペナルティキックから直接ゴールを決めることができる。

(中断:各半分の終了時または延長戦の終了時にペナルティキックを行うための追加時間が認められる)。

ボールと選手の位置関係:

- ペナルティマーク上に置かなければならない。

(new) PK戦では、PKを行うプレーヤー:

- 正しく識別されなければならない(実機競技の場合のみ)

守備側のゴールキーパー:

- 実機競技において、キッカーと向かい合うゴールライン上または**ゴールラインの内側**に留まらなければならない。バーチャル競技では、どの方向を向いていてもよい。いずれにせよ、ボールが蹴られるまでゴールポストの間にいる必要があります。

キッカー以外のプレーヤーは、次のとおりでなければならない。

- フィールドの内側
- (中断: ペナルティエリアの外)
- ペナルティマークの後方
- ペナルティマークから少なくとも0.75m(KidSize)、1.5m(AdultSize)離れていること(代替:9.15m)。

手順

通常のプレー中にペナルティキックが行われた場合は、通常の直接フリーキックの場合と同じ手順が適用される。

PK戦の時:

- 実機競技では、プレーヤーが本法令に従って位置についた後、レフリーはペナルティキックの開始を合図する
- バーチャル競技では、レフリーは、キッカーとゴールキーパーをスポンする。
- ペナルティキックを行うプレーヤーは、ボールを前方に蹴り出さなければならない。
- (中断:ボールが他のプレーヤーに触れるまで、再びプレーしてはならない)
- ボールは、キックされ前方に移動したとき、インプレーとなる。(6)

(6)バーチャル競技では、5cm以上の移動が前進とみなされる。

(代替) 通常のプレー中にペナルティキックが行われた場合、またはペナルティキックの実施もしくは再開のためにハーフタイムもしくはフルタイムで時間が延長された場合、ゴールポストの間を通過しクロスバーの下を通る前に、次のような場合にゴールが与えられる。

- ボールが、ゴールポスト、クロスバー、ゴールキーパーのいずれか、または両方に触れること。

ペナルティキックは60秒後に終了します。60秒経過時にボールがまだ動いている場合は、ボールが完全に停止するまで延長することができる。また、ボールが完全にゴールエリア内で止まるか、フィールドから離れると、試合が終了する。

(代替:) ペナルティキックの完了はレフリーが決定する)

違反と制裁

通常の直接フリーキックと同じ反則と制裁が適用される。

(代替) レフリーがペナルティキックの合図を送り、ボールがプレーに入る前に、次のいずれかが起こった場合 ボールがプレーに入る前に次のいずれかが発生した場合：

ペナルティキックを行うプレーヤーが競技規則に違反した場合：

- レフリーがキックを許可した場合
- ボールがゴールに入れば、キックはやり直される。
- ボールがゴールに入らなかった場合、レフリーはプレーを停止し、反則の起こった地点から防御側への間接フリーキックで試合を再開させる。

ゴールキーパーが競技規則に違反した場合。

- レフリーはキックの実行を許可する。
- ボールがゴールに入れば、ゴールが与えられる。
- ボールがゴールに入らなかった場合、キックはやり直される。

キックを行うプレーヤーの味方のプレーヤーが競技規則に違反した場合。

- レフリーはキックの実行を許可する。
- ボールがゴールに入れば、キックはやり直される。
- ボールがゴールに入らなかった場合、レフリーはプレーを停止し、反則の起った地点から防御側への間接フリーキックで試合を再開させる。

ゴールキーパーの味方のプレーヤーが競技規則を犯した場合。

- レフリーはキックの実行を認める。
- ボールがゴールに入れば、ゴールが与えられる。
- ボールがゴールに入らなかった場合、キックはやり直される。

防御側と攻撃側の双方のプレーヤーが競技規則を犯した場合。

- キックのやり直し

ペナルティキックが行われた後、次のような場合。

ボールが他のプレーヤーに触れる前に、キッカーがボールに再び触れる(手を除く)。

- 相手側に間接フリーキックが与えられ、反則の起った地点からキックされる。キックは反則の起った地点から行う(第13条 フリーキックの位置参照)

キッカーが、ボールが他のプレーヤーに触れる前に故意にボールを扱った場合。

- 相手側に直接フリーキックが与えられ、反則の起った地点から蹴られる(第13条 フリーキックの位置参照)。

ボールが前方に移動するときに、外部のものが触れた場合。

- キックをやり直す

ボールがゴールキーパー、クロスバー、またはゴールポストからフィールドにはね返されたとき。外部者によって触れられた場合。

- レフリーはプレーを停止する。
- ただし、ボールがゴールエリア外で外部プレーヤーに触れた場合を除く。ただし、ゴールエリアの内側で、外部プレーヤーに触れた場合は、レフリーはボールをゴールエリアラインに投下する。この場合、レフリーは、ボールが停止されたときの位置に最も近い地点で、ゴールラインと平行なゴールエリアライン上にボールをドロップする。)